

平成30年7月12日(木)

会場：御前崎市役所 301・302 会議室

1. あいさつ (河原崎教育長)

- ・地域の力・地域との連携が大切。

『グッドマナー運動のポスター』・『各地区で作製・配布されているカレンダー』『中学生の職業体験』『園～高校までの合同研修』『通学合宿』『海洋体験』などで、地域の方の力を借りることができている。学校とのいい結びつきがみられている。・・有り難いことである。

- ・『早寝・早起き・朝ご飯』の実施状況をもとに、今後どう高めていくにはどうするかを話し合っていたきたい。宜しくお願いします。

2. スクラムスクール運営協議会長あいさつ (浜岡中学校区会長)

- ・これから夏に向かって、花火大会等が計画されている。地域の方のご指導をおねがいします。

3. 事務局からの報告及び提案

(1) 朝ご飯調査の結果の報告 (「朝食調査のまとめ」参照)

- ・今回の調査結果と29年度の調査結果の説明。調査の結果があまり良くない学年があるのも事実。その現実をどう受け止め、どう対応・啓発していくかが重要。

(2) あいさつ運動ポスターの配布についての報告

- ・「ポスターを自分たちで配りたい」と、浜岡中生徒70名が『ポスター配布ボランティア』を希望してくれた。これからは期待できる。
- ・『あいさつ運動』の日に中部電力の人達が、浜中交差点に立ってくれている。

(3) スクラムカレンダー作製ボランティアを集めての会合の実施についての報告

- ・スクラムカレンダー作製ボランティアの会合を計画している。参加していただくと有り難い。

(4) 御前崎市大産業祭に「早寝・早起き・朝ご飯」のブースを設けることの提案

- ・産業祭に他の課とコラボして、「早寝・早起き・朝ごはん」のブースを設けたいと考えている。SS連絡協議会の皆さんも参加してもらえれば有り難い。
- カレンダー、あいさつ運動、「早寝・早起き・朝ご飯」に関する読み聞かせ等を考えている。

(5) 朝ご飯を子どもに食べさせたか、メールでの全保護者調査の実施の提案

- ・今回は朝食実態調査を子ども対象に行ったが、親対象に、メールでの調査をやりたい。

(メールは、教委から発信)

4. 協議 (小学校区ごとにグループ協議)

- (1) 朝ご飯調査の結果について、どのような感想をもったか、園や学校としてどんな取り組みをするのか。
- (2) 大産業祭にブースを設けること、全保護者へのメール調査 (地頭方地区と高保は紙媒体) をすることについて。

5. 全体会

〈第一小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

「朝ご飯の大切さ」に気づいてもらうためのアピールをし続けることが大事。朝食の大切さを常に言い続けることが大切。各家庭で、食べる時間を決めたらどうか。両親だけでなく、祖父母同居の家庭は、祖父母に頼んでみたらどうか。保護者同士で話し合う機会を多く作る。コミュニケーション

ンが大事。いろいろな方法を考えてアピールしていこう。

(2) ブースを設けることについて

人を集める工夫が必要。楽しい宣伝をしないと集まらないのでは・・・。

〈東小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

朝食を食べない家庭もある。食べない理由は何だろうか。

家庭への支援・声かけ・伝え続ける・人と人とのつながり・地域とのつながりが効果をあげるのではないか。

(2) ブースを設けること・メール配信について

ブース・・・チラシを分ける。舞台上でヒーローを呼んだりして関心を寄せてから話をするなど。

人を寄せる企画を。ブースのやり方を考えることが大事。(人が寄りやすい内容を)

メール配信・・・親しみ易くいいと思う。やわらかい文でのメールを。配信の理由がわかるメールを。

〈北小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

一日のみの調査なのでどうか。「食べない」の理由は、親なのか？ 子どもなのか？ どんなものを食べたかも疑問。完璧な朝食は難しい。簡単レシピの紹介。母親に大変さ・困っている理由を聞いてみるのはどうか。その調査をもとに、情報等を提供していく。懇談会などで、朝食の大切さを知らせていく。

(2) ブースを設けること・メールについて

ブースについて・・・朝食のメニューを紹介したらどうか。

メール配信・・・取り組みとしてはおもしろいのでは。内容の中に選択だけでなく、母親に「何が大変か」の理由を入れるところも設けたらどうか。

- 報告・・・前回の話し合いの時に、サポート隊の人たちに呼びかけて、『子ども達へあいさつと共に一言声をかけてもらおう』という話が出た。現在、あいさつだけでなく、「朝ごはん食べてきたか？」等の呼びかけを実施してくれている。

〈御前崎小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

一日だけでなく、継続して調べることが必要。食べない理由がわからないと対処もわからない。

御前崎小学校では、「早寝・早起き・朝ご飯アンケート」を実施しているとのこと。

なぜ市として取り組んでいるのかの理由を周知することで、徹底するのではないか。子どもにずっといい続ける。→習慣づけになる。

カレンダーへ継続的にスローガン・チェックリスト等のをせて、意識付けをしていったらどうか。学校のなかでできることは難しいが、SSPで進めているということ伝えて、栄養士による朝食指導ができるかもしれない。

(2) ブースを設けることについて

少しでも PTAの方が、参加してくれれば知るきっかけになるので、よいと思う。ゲストよりもホストになれば、発信する側になるので、広めるきっかけになるのでは・・・。

〈白羽小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

朝食調べの結果・・・幼稚園・保育園・・・今回の調べでは、100%。小学校も数値的によかった。朝食をどのようにして食べているのか？誰と食べているのか？何を食べているのか？等・・・次につなげていくことが大事。総会での話や園だよりなどで継続的に発信していく。「朝食を食べる」という親の意識が持てるよう発信していくことが大事。

(2) ブースを設けることについて

ブースを設けることはいいと思う。内容としては、3分クッキング・朝食レシピを配るなど。

『来て楽しい・みておもしろい』ブースに。

メール配信について・・・事前に通知を配布してから実施するのがよいのでは。家族で重複して登録してある家庭もあるので、正確性はどうなるのか？子ども一人に対して一回答にするのか・・・。

朝食を食べてこない家庭は、メールの返信が来ないかも・・・。

〈地頭方小学校区〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

幼稚園・保育園・・・食べている子が殆どで、数値的にはよかった。

食べたもの内容については、どうなのか。幼稚園で「何を食べてきたか」を聞いたら、菓子パンやホットケーキという家庭が多く、ご飯という家庭が少なかった。パンよりご飯がいいということを母親に伝えていけるといい。この次の調査では、ワンランク上にステップアップを。食べないより食べた方がいいとしても、忙しくても作れるレシピの配布や『牧之原市のまきはぐ』の利用・講演会での話等で、親の意識を変えていくことが大事。食べるだけでなく、日中、運動してお腹をすかせることも大事。日中の運動も考えていった方がいいのでは・

(2) ブースを設けること・メール配信について

ブース・・・朝食コンテスト、試食+レシピの配布、子ども対象のクイズ形式のもの、旬の野菜を使ったレシピの紹介などはどうか。

メールについて・・・地頭方地区は紙媒体になる。内容は、同じで・・・思ったが、何を食べたか？誰と食べたか？も調査したらどうか。

〈中学・高校グループ〉

(1) 朝ご飯調査の結果について

なぜ食べないのか？の原因に注目が集まった。親の問題か？こどもの問題か？

池新田高校では、全員対象に一週間連続で調査。80%以上の結果。調査で家庭の様子もわかったということだった。

(2) ブースを設けること・メール配信について

ブースを設けること・メールについて・・・まず、やってみるとよい。

生徒がTシャツやポロシャツを販売するのはどうか。

(司会者)・・・「産業祭へ出店ということでよろしいでしょうか」

(参加者)・・・「はい」

(司会者)・・・「それでは了承ということに」

6、指導・助言（静岡大学 中村先生・島田先生）

○中村先生

1、今日の話し合いの位置づけについて

PDCA サイクルという言葉があるが、最近では、CAPD サイクル（チェック→改善→計画→実行）というものもある。最初にチェックした上で、改善していくのが、合理的ではないかという話である。

調査・チェック→本日やった位置づけとしては、改善するにはどうするか→プラン。

その一つがブース・次にどうやって家庭への働きかけていくか、改善点を踏まえた流れに。

調査をやって改善という、非常に重要なことが話し合われた。

2、『早寝・早起き・朝ごはん』の大切さを家庭へどう伝えるかについての話し合いが中心だったグループが多かったが、改善するにあたって、考えるべきことは、『なぜ早寝と早起きと朝ごはんをするのか？』この根本的なことに立ち返る必要がある。

朝ご飯を食べることが最終目標ならば、どこかで一緒に食べさせれば、いいということになるが、改善するにあたって、目指すところは『朝ご飯を食べること』によって、例えば、朝食の時、『親と子が一緒に食することによって、家族とのコミュニケーションが深まるとか、子どもの悩みにいち早く気づくことができるとか、授業中お腹が空かない状況をつくって学校に行けば、勉強に集中し、最終的に成績が上がる。とか、朝ご飯がきっかけになって実現できることがある。

各家庭で共通認識がバラバラであるので、イメージを作ることが必要。考えてみると、割とハードルが高いことだと思う。『早寝・早起き・朝ごはん』は、早寝をしなくてははいけない。しかも、早く起きなければはいけない。そしてかつ、朝ご飯を食べなくてははいけない。3重のハードル超えた上に、実現しなくてははいけない。

こんな大変なことを実践している家庭があるということは、調査の結果が出ているように、これはかなり高い評価である。話し合いの中でも出ていたが、やってみてもうまくいかなかったということに気づいたならば、食べるためにはどうしたらいいのかの改善のために手立てが考えられる。

調査の結果に一喜一憂することがあるが、テストの結果と同じで、是非、長期的視点で見えていただき、『早寝・早起き・朝ごはん』の達成を長期的にできた方が効果はある。

この期間だけを100%にしようとするよりは、楽しく食べるにはどうしたらいいか。早く進んで寝るにはどうするか。積極的に楽しんで手立てがとれる方法をみんなで考えていった方が、長期的には、いいだろうなと私は感じる。

朝ごはんは、単なる栄養摂取ではないので、地域をよりよくしていこう、家庭が更にコミュニケーションがとれて、幸せな家庭になるためには、子どもと共に長期間にわたってつくりあげていく・楽しんでいく手立てを考えるとよいのでは・・・。

○島田先生

行政のみ、学校のみでなく、みんなで考え、提案がある中で、政策が実現できるということは、成果。

朝食を食べない子が、6.5%いる。・・・どうして食べないのか。親の問題なのか・子どもの問題なのか？を掘り下げて議論したことは、とても重要。

家庭的な問題というのは、なかなか周りが介入しにくい。しかし、もしかしたら、虐待みたいなものが入っていたかもしれない。調査がきっかけで、もしかしたらみつかもしれないという点では、社会のセーフティネットとしての意義があるかもしれない。

多くの人が食べているということ、それはそれでいいこと。しかし、誰と食べているか。実際何を食べているか。朝食を通じて、生活習慣をどう捉えていくか。

家庭の生活習慣を1ヶ月2ヶ月でがらっと変えていくのは、難しい。家庭文化を変えていくには、ある程度の期間が必要。

朝食ということをきっかけにして、寝る時間ということについても議論していくとよいのでは。長期戦になるかもしれないが、スクラムで。

7. 連絡

- (1) 第3回 平成30年10月3日(水) 13時15分 浜岡中学校・御前崎中学校
- (2) 第4回 11月15日(木) 19:00 第5回1月10日(木) 19:00 第6回3月7日(木) 19:00

8. その他

○石川校長先生より

『御前崎市スクラムスクール 小中学生の生活についての共通理解のお願い』の お便りの発信者の中に『スクラム協議会』の名前を入れさせていただきたい。

・スクラムスクール運営協議会参加者・・・了承。

○増田校長先生より

スクラムカレンダーについて

現在、スクラムカレンダーを地域回覧で配布しているが、市内には、班外の家も多く、カレンダーの周知度が低い。そこで、周知度を上げるために、行政の人にいろいろな場で配布してほしい。(検診の時にカレンダーを置く。カレンダーを配布するなど。)

・長谷川課長・・・「他の課にも伝えます。」

○地域代表の五島さんより

前回の記録の教育長のあいさつの中に、外で遊ぶことの他に『読書』という言葉もあったと思う。ホームページで公開しているということだから、正しく報告を。

・記録係・・・「大変申し訳ありませんでした。」 (7月13日、訂正させていただきました。)